



平成24年度
丹波すぐれもの大賞

- 応募期間：平成24年10月1日(月)～平成24年10月31日(水)
- 審査委員会：平成24年12月11日(火)
- 表彰式：平成25年 2月13日(水)

ごあいさつ

丹波県民局長 梅谷 順子

豊かな自然や美しく懐かしい田園風景、四季折々の味覚、そして人情味あふれる人々。これらの豊かな地域資源と京阪神地域からの優れたアクセスを活かして、丹波県民局では、基幹産業である農林業の振興や京都丹波との連携による広域観光、田舎暮らしの推進などに取り組んでいます。

一方で、この地域では、国内外で高いシェアや優れた技術を誇る企業が数多く操業していますが、意外にこうした優れた企業のことが知られていません。

このため、地域の未来を担う若者をはじめ多くの方々に、地元企業等の取組への興味や関心を高めていただくことをねらいとして、昨年度、「丹波すぐれもの大賞」を創設しました。この賞は、産業界や地域の活性化に貢献している製品・部品や、生活の豊かさに貢献している商品・農産物等を生産している企業や団体を表彰し、日頃の努力や熱意に報いるとともに、新たなものづくりへのモチベーションを高めようとするものです。

今回は、「きらめき部門」と「わくわく部門」で9件のご応募があり、学識者や市民代表からなる5名の審査委員による厳正な審査を経て、4件の「すぐれもの」を決定し、日本六古窯のひとつとして地域が誇る丹波立杭焼の表彰楯をお贈りしました。

次年度以降も、丹波地域の産業を支え、地域活性化に貢献していただいている企業等の取り組みを積極的に発掘して顕彰し、広く多くの方々にお知らせしていきたいと思っております。



講 評

審査委員会委員長 北村 新三
(兵庫県立工業技術センター所長)

昨年度より丹波県民局で創設された「丹波すぐれもの大賞」に、「きらめき部門」「わくわく部門」全体で9件のご応募がありました。様々な分野の専門家5名の審査委員による厳正な審査の結果、4件の「すぐれもの」が選出されました。

審査は、製品・部品や商品の生産にあたって、従来の概念を覆すような革新性や高度な技術、産業界や地域経済への影響度、企業経営への貢献度など様々な面から審査させていただきました。

まず、「きらめき部門」では、ダンロップスポーツ(株)市島工場が生産されているゴルフボール「XXIO シリーズ」「SRIXON Z-STAR シリーズ」は、これまで研究・開発部門が長年蓄積してきたデータ・技術力を活かし、コアの中心部をより柔らかくする新しい添加剤の開発と、0.3mm、0.5mm という他社にない薄カバー技術の開発により、ボールをより遠くへ正確に飛ばすことを実現しました。製品は、市島工場が日本唯一の生産拠点として開発から製造までを行い、平成23年度出荷数量では、国内トップシェア31.2%を獲得するとともに、地元雇用にも大きく貢献しています。

次に、「わくわく部門」では、フジフレッシュフーズ(株)と(株)河南勇商店が生産されている丹波特産山の芋を活かした加工食品「丹波山芋焼き」は、業種の違う両者が連携することで生まれた商品です。比較的流通価値の低い等級の山の芋を有効活用することで、生産農家の意欲向上をはかるとともに、丹波篠山の地域ブランドの認知向上にも貢献しています。

(株)朋まさゆめさかゆめが生産されている「丹波栗バームクーヘン 樹乃根」は、丹波米を独自製粉した米粉、丹波養鶏所の鶏卵、大粒の丹波栗の渋皮煮と栗餡を使用し、柏原の名所である太鼓やぐらの「太鼓」の形に焼き上げ、徹底した丹波産へのこだわり、丹波の贅沢を味わえるお菓子といえます。

(株)西山酒造場が生産されている「甘酒ヨーグルト」「甘麴」は、酒蔵の清酒製造技術を応用し、米と米麴を原料とした商品で、米麴の発酵で生まれるブドウ糖により甘みを最大限に引き出して造るため、砂糖を一切使用しない健康商品です。

以上、受賞製品について簡単に紹介させていただきましたが、今回選外になった製品・商品にも、企業発展や地域貢献のために時間をかけて創意工夫が凝らされているものが多くあり、丹波地域には、大変素晴らしい企業や団体が沢山あることを改めて実感いたしました。

皆様が、今回の受賞をきっかけに、さらなる飛躍を遂げられますよう祈念いたしまして、簡単ではありますが講評とさせていただきます。

審査委員会名簿

機 関 名	役 職	氏 名	備 考
兵庫県立工業技術センター	所 長	北 村 新 三	委 員 長
兵庫県立但馬技術大学校	校 長	椿 野 晴 繁	副委員長
兵庫県立農林水産技術総合センター	所 長	渡 邊 大 直	
丹波消費者団体連絡協議会	代 表	荻 野 美 代 子	
丹波新聞社	代表取締役社長	荻 野 祐 一	

きらめき(産業・ビジネス)部門

ダンロップスポーツ株式会社 市島工場

ゴルフボール XXIOシリーズ SRIXON Z-STARシリーズ

すべてのゴルファーの願いである『もっと遠くへ、より正確に』を実現するため、飛距離性能を最重視した「XXIO(ゼクシオ)シリーズ」、飛距離だけでなくコントロール性も追求した「SRIXON(スリクソン) Z-STARシリーズ」を開発・製造した。

ゴルフボールの飛び性能を高めるには、ボール初速を上げるために、「ボールのコアの反発力を大きくする」とことと、打ち出し角度を上げつつも、スピン量を抑えるために、「ボールの中心から外側にかけての剛性差(外剛内柔)を大きくする」ことが必要とされている。

ダンロップスポーツ(株)は、日本初のゴルフボール製造メーカーとして、これまで長年蓄積してきたデータ・技術力を生かし、コアの中心部をより柔らかくする新しい添加剤と、0.5mm^{*1}という他社にない薄カバー技術を開発。飛距離を伸ばすことを可能にした。

市島工場は現在、同社にとって国内唯一のゴルフボール生産拠点である。同社は国内出荷数量でトップシェア31.2%(H23)^{*2}を誇るほか、ゴルフボールに関する特許も多数保有している。また、日本国内だけでなく世界各国にも輸出。国内外の多くのトッププロが使用し、その勝利に貢献している。

『卓越した技術力で、お客様のスポーツライフをもっと豊かに。』を企業理念として、信頼と期待に応える製品づくりに取り組んでいる。

※1 「スリクソン Z-STAR」シリーズ

※2 ゴルフ産業白書2012版(矢野経済研究所)



会社概要

本社所在地：兵庫県神戸市中央区脇浜町3丁目6番9号

市島工場：兵庫県丹波市市島町梶原5番地

代表者：工場長 浅川 直己

創業：明治42年(1909)

設立：平成15年7月

資本金：92億750万円

社員数：362名

事業内容：ゴルフ用品、テニス用品の製造および販売

問合せ：(市島工場)TEL:0795-85-3000

H P : <http://www.dunlopsports.co.jp/>

会社沿革

明治42年 英国ダンロップ社の工場を誘致

国内初の近代的ゴム工場として創業

昭和5年 国内初のゴルフボールと硬式テニスボールの生産開始

昭和38年 住友の経営となり「住友ゴム工業(株)」に社名変更

昭和39年 ゴルフクラブの生産開始

平成8年 ゴルフボール生産専用の市島工場完成

平成12年 「ゼクシオ」ゴルフクラブ、ゴルフボール発売

平成15年 住友ゴム工業のスポーツ事業部門が分社独立

「SRIスポーツ(株)」設立

平成21年 「スリクソン Z-STAR」ゴルフボール発売

平成23年 緑化優良工場として近畿経済産業局長表彰を受賞

平成24年 「ダンロップスポーツ(株)」に社名変更

わくわく(日常生活)部門

フジフレッシュフーズ株式会社 株式会社 河南勇商店

丹波山の芋加工食品 「丹波山芋焼き」

丹波特産山の芋の独特の粘りと、どっしりとした滋味を活かした、山の芋の新しい食べ方を提供する冷凍食品「丹波山芋焼き」を開発した。

通常山の芋は摺りおろして「とろろ」として食べるのが一般的だが、「丹波山芋焼き」は「約5mmのサイコロ状にカットした山の芋」と「摺りおろし山の芋」を組み合わせることで、山の芋のおいしさが持続する品質を完成させた。

食品加工メーカー「フジフレッシュフーズ」が土つきの原材料を工場内に持ち込み皮むきなどの作業を行うことは現実的に難しく、共に篠山に拠点を置く「河南勇商店」と連携することで完成された商品である。

また、丹波山の芋は栽培に非常に手間がかかるが、形の悪い商品は市場価値が低く廉価販売されるため、農業者にとっては安定収入のリスクの高い品種であった。そのような比較的流通価値の低い等級の山の芋を有効活用した冷凍食品を開発、全国に広域販売することで、山の芋資源の付加価値の向上に貢献し、丹波篠山の地域ブランドの認知向上に貢献している。



会社概要

フジフレッシュフーズ株式会社
所在地 兵庫県篠山市中野62番地
代表者 代表取締役社長 川崎 正之
設立 昭和48年(1973)
資本金 1億円
社員数 105名
事業内容 大豆たん白・大豆関連素材を基礎原料にした加工食品を製造し、全国のスーパー、生協共同購入に販売
問合先 TEL:079-594-2155
H P http://www.fujifresh.com

会社概要

株式会社河南勇商店
所在地 兵庫県篠山市西古佐954番地の4
代表者 代表取締役社長 河南 直樹
設立 明治41年(1908)
資本金 1,000万円
社員数 10名
事業内容 丹波特産品卸小売業、食品加工業
問合先 TEL:079-594-0803
H P http://www.yamayu.co.jp/

会社沿革

昭和48年 前身の「神戸サニーフーズ(株)」設立 (不二製油100%出資、現拠点にて)
平成元年 前身の「フジフレッシュフーズ(株)」設立 (不二製油100%出資、神戸市)
平成8年 「神戸サニーフーズ」と「フジフレッシュフーズ」が統合し、新「フジフレッシュフーズ」としてスタート
平成10年 「豆腐そうざい」「豆腐と魚のハンバーグ」がヒット 新しい「惣菜のカテゴリー」として業界から注目
平成19年 尼崎市にチルド対応工場を設立
平成24年 「丹波山芋焼き」が「兵庫県認証食品」に認証

会社沿革

明治41年 創業。日用品百貨の販売を始める。
昭和25年 河南勇が丹波で作られていた山の芋に魅了され、京阪神へ車で行商に出かける。
昭和38年 保管用の大型冷蔵庫施設を建設
昭和44年 合名会社を設立。大型冷蔵庫施設を建設。
昭和48年 冷凍庫施設、食品工場を建設。冷凍とろろを販売。
昭和63年 アンテナショップとして店舗をオープン。通信販売を開始。
平成11年 株式会社河南勇商店を設立。

まさゆめさかゆめ

丹波栗バームクーヘン 「樹乃根 太鼓」

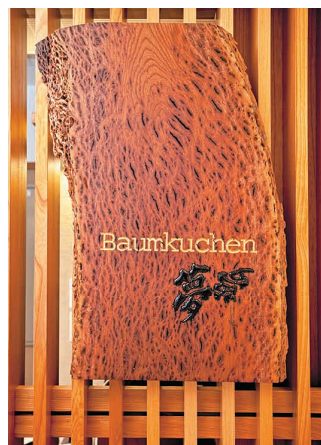
丹波米を独自製粉した米粉と、丹波市春日の養鶏所の鶏卵をふんだんに使用し、柏原の名所である太鼓やぐらの「太鼓」の形に焼いたバームクーヘンの中に、大粒の丹波栗の渋皮煮と栗餡を入れ仕上げた、丹波の贅沢を味わえるお菓子「樹乃根太鼓」を開発した。

徹底した丹波産へのこだわりのために、丹波米を使用するため、購入した丹波米をバームクーヘンに使える粒子まで製粉できる京都の業者まで運ぶ手間とお金をかけているほか、原料確保に相当な困難があり高価な大粒の丹波栗を使用、丹波の養鶏所から卵を購入、地元加工紙会社から梱包材料を仕入れるなどしている。

まさゆめさかゆめでは、丹波栗のほかに、丹波大納言小豆、丹波黒豆などを使用したバームクーヘンを生産するほか、地元酒造会社と連携した日本酒プリンなどを開発している。

また、商品を発送する際には、丹波市観光案内マップやイベント案内チラシ、「丹波に遊びに来てください」という趣旨の手書きのお手紙、「丹波黒豆しぼり」の小袋などを同梱し、丹波への観光誘客に貢献している。

同様に関西圏百貨店での催事の際には、丹波のアンテナショップ的な活動をおこなっている。



会社概要

所在地：兵庫県丹波市柏原町柏原4-2
代表者：代表取締役社長 秋山 朋宏
創業：平成20年(2008)
資本金：800万円
社員数：13名
事業内容：飲食業 菓子製造販売業
問合せ：TEL:0795-71-1265
HP：<http://www.hachiuma.jp>
<http://www.masayumesakayume.jp>
<http://www.rakuten.co.jp/masayumesakayume/>

会社沿革

平成2年 備前焼割烹八馬 オープン
平成17年 まさゆめさかゆめ 羽曳野店オープン
平成18年 「八馬」「まさゆめ」姉妹店として共同経営
平成20年 株式会社 設立
平成23年 まさゆめさかゆめ 丹波店オープン

わくわく(日常生活)部門

株式会社西山酒造場

清酒製造技術を応用した 「甘酒ヨーグルト」「甘麴」

清酒製造技術を応用し、米と米麴のみを原料としたノンアルコール製品を開発・製造した。製品は、米麴の発酵で生まれるブドウ糖のみの甘みを最大限に引き出しているため、砂糖を加えずとも十分な甘みがあり、健康面にも配慮している。

『甘酒ヨーグルト』

丹波の酒蔵が丹波産酒米から造る、米と米麴だけが原料のノンアルコール「甘酒」と、丹波の酪農組合が丹波産の生乳から作る「ヨーグルト」を組み合わせ、無砂糖、無添加、ノンアルコールのドリンクヨーグルト。甘みと酸味のバランスを整えるために、試行錯誤を重ねた。

従来より相性が悪いとされてきた酒蔵の酵母菌とヨーグルトの乳酸菌だが、事業者同士の相互理解と、徹底された管理体制により融合することに成功した。

『甘麴』

米と米麴のみを原料に、砂糖に代わる無砂糖、無添加の新しい健康調味料として開発した。添加物を使用せず、麴の独特のにおいをキャラメルのような香りに変化させることに試行錯誤を重ねた。

(株)西山酒造場は、「丹波のリラクゼーションの創造と提供」を企業理念とし、清酒「小鼓」や栗焼酎「古丹波」など人気銘柄を生産するほか、丹波の地域資源の活用と酒蔵の発酵技術を活かした他社では真似できない製品、原料を提案し、異業種との連携にも積極的に取り組み、地域の活性化に貢献している。



会社概要

所在地：兵庫県丹波市市島町中竹田1171

代表者：代表取締役社長 西山 周三

創業：嘉永2年(1849)

資本金：2,000万円

社員数：31名(正規22名、非正規9名)

事業内容：清酒・焼酎・梅酒・グラッパ・スイーツ
・ノンアルコール製品等の製造・販売

問合せ先：TEL:0795-86-0331

H P : <http://kotsuzumi.co.jp/>

会社沿革

嘉永2年 清酒蔵として創業

大正3年 高浜虚子「小鼓」と命名

昭和57年 栗焼酎を全国で初めて製造、販売

昭和59年 全国で初めて「生酒の蔵元直送便」を行う

平成3年 「花閑一鼓」「路上花有」を発売、ヒット

平成18年 主屋を含む西山酒造場内の建築物3点が国の登録有形文化財に登録

「神戸グラッパ」が(社)兵庫県工業会「グッドデザインひょうご」を受賞

丹波すぐれもの大賞 新聞記事掲載

産経新聞 1月23日

丹波すぐれもの大賞に4件

「丹波すぐれもの大賞」

創意工夫を重ねた技術で産業や地域の活性化に貢献している製品を生産している企業に贈る、平成24年度「丹波すぐれもの大賞」で、きらめき部門1件とわくわく部門3件が決まった。きらめき部門に決まったのは、ダンロップスポーツ市島工場（丹波市）のゴルフボール「XXIOシリーズ・SRIXON Z-STARシリーズ」。わくわく部門では、フジフレッシュフーズ（篠山市）、河南勇商店（同）の丹波山の芋加工食品「丹波山芋焼き」「朋 まさゆめさかゆめ（丹波市）の丹波栗パームクーヘン」「樹乃根 太鼓」▽西山酒造（同）の清酒製造技術に応用した「甘酒ヨーグルト」「甘麴」の3件が選ばれた。

兵庫ジャーナル 2月18日



丹波すぐれもの大賞表彰式。今年度は2部門で計4件が選ばれた。

「丹波すぐれもの大賞」は、農林業や産業界の地域の実態、新たな取り組みへのモチベーションを高め、地域活性化を図るのがねらい。優秀な技術で開発・製造された製品を選挙し、個人を顕彰する「丹波すぐれもの大賞」では、役立つ生活商品や丹波ブランドの拡大に資する加工食品を選定する「わくわく部門」として

地域資源を活かした元気の丹波づくり

地域産業の活性化 △ 丹波すぐれもの大賞に4件

神戸新聞 1月24日

独自の技術、食材にこだわり

丹波県民局が選出

優れ物製作 5社に大賞

丹波県民局は、優れた商品を作った企業を表彰する「丹波すぐれもの大賞」を発表した。新たな添加剤などで飛距離が伸びたゴルフボールや、丹波産の米、卵、くりで作ったパームクーヘンを生み出した計4社が選ばれた。（森 信弘）



飛距離の長いゴルフボール
ダンロップスポーツ市島工場

山の芋の冷凍加工食品
フジフレッシュフーズ、河南勇商店

丹波栗を使ったパームクーヘン
朋まさゆめさかゆめ

同賞は、若者に地元企業へで、これまでより遠くへ飛ぶの関心を高めてもらうのが狙い。第2回となる2012年度は、産業・ビジネスと日常生活の2部門で9件の応募があった。産業・ビジネス部門では、丹波特産「山の芋」のゴルフボール「XXIOシリーズ」が、形が多岐にわたる加工食品を「XXIOシリーズ」で完成させた。山芋焼きを完成させた。フジフレッシュフーズ（丹波市）の丹波山の芋加工食品「丹波山芋焼き」が選ばれた。市柏原町の丹波栗パームクーヘン「樹乃根 太鼓」は、丹波産の食材にこだわり、

丹波市柏原町の「太鼓やぐら」の形に似た、全国から注文が殺到しているという。西山酒造場丹波市島町は、相性が悪いとされた酒蔵の酵母菌と乳酸菌を組み合わせた「甘酒ヨーグルト」と砂糖に代わる調味料「甘麴」を開発。いずれも清酒の製造技術を用いた。県民局は、大賞ホームページで紹介し、リーフレットも作成する。地元の高校などに配布し、就職フェアでも活用するとしている。

読売新聞 1月26日

丹波が誇るすぐれもの

山の芋 冷凍食品 / 甘酒ヨーグルト

丹波県民局が優れた製品を開発、生産した企業などを表彰する2012年度「丹波すぐれもの大賞」に、山の芋の冷凍食品や丹波産食材にこだわったパームクーヘンを考案した5社が選ばれた。2月13日、同県民局で表彰式を行う。（田中聡）

農産物、加工品などを対象とした「わくわく」として、丹波産の山芋加工食品「丹波山芋焼き」は、フジフレッシュフーズ（篠山市）と河南勇商店（同）が共同で開発した。篠山特産の山の芋のうち、形がそろわず低価格となる規格外品を冷凍加工した商品で、解凍してフライパンで焼く新しい食べ方を提案した。菓子製造販売店「まさゆめ」は、かゆめ（丹波市）の丹波栗パームクーヘン「樹乃根 太鼓」は、米粉、鶏卵、栗など丹波産の原料にこだわった。丹波市柏原町の観光名所「太鼓やぐら」にちなみ太鼓の形にした。西山酒造場（同）は、麹に仕込み水の湯を加え温度管理によって糖化を進め、無添加の調味料「甘麴」を開発。相性が悪いとされた酒蔵の酵母菌とヨーグルトの乳酸菌を組み合わせた「甘酒ヨーグルト」も売られた。核の部

県民局 5社認定 来月に表彰



丹波すぐれもの大賞の一つに選ばれた「丹波山芋焼き」

分を開発かくする新しい添加剤を開発するなどして飛距離の出るゴルフボールを製造し

紹介したパンフレットを作成し就職フェアなどで活用。ホームページでも紹介し、地元企業を若者にアピールする

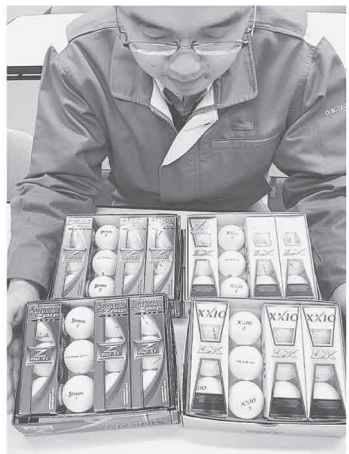
たダンロップスポーツ市島工場（丹波市）が選ばれた。同県民局は受賞社、製品を紹介したパンフレットを作成し就職フェアなどで活用。ホームページでも紹介し、地元企業を若者にアピールする

丹波すぐれもの大賞 新聞記事掲載

丹波新聞 1月24日

ゴルフボールが受賞

石川遼プロも使用



大工町の山形町にある「ダンロップスポーツ市島工場」で、ゴルフボールの生産が行われている。

ダンロップスポーツは、石川遼選手や横峯さくら選手をはじめ国内外の多くのプロゴルファーも使用している。現在、国内の生産工場が、国内唯一の同社のゴルフボール生産拠点となっている。

ダンロップスポーツ市島工場

同シリーズも、デザインも異なるパケットタイプのミニレシヨフーズを発売している。SRXION（シリクシオン）、AR（アール）シリーズ、X（エックス）シリーズが同大賞に選ばれた。（27日日本紙で商品紹介）

丹波すぐれもの大賞

今年度の「丹波すぐれもの大賞」の受賞者が21日、発表された。すぐれた製品や商品を開発、生産

している企業や団体を顕彰するため、丹波市長が創設した賞で、産・官・学連携では「ダンロップスポーツ市島工場」が、日常生活部門では「メダラフレッシュフーズ」が、同大賞に選ばれた。

毎日新聞 2月14日

ゴルフボール 山芋焼き バームクーヘン 甘酒ヨーグルト

丹波県民局の今年度の「丹波すぐれもの大賞」が決め、表彰式が行われた。

丹波県民局の今年度の「丹波すぐれもの大賞」の受賞者が21日、発表された。すぐれた製品や商品を開発、生産している企業や団体を顕彰するため、丹波市長が創設した賞で、産・官・学連携では「ダンロップスポーツ市島工場」が、日常生活部門では「メダラフレッシュフーズ」が、同大賞に選ばれた。



梅谷順子局長（手前右）から表彰されるダンロップ市島工場の浅川直己工場長（向左）＝丹波県民局で

丹波すぐれもの大賞

ダンロップスポーツ市島工場など5事業所に

を開設した西山酒造場（同市市島町中田）が表彰された。さらけぬき部門には2件、わくわく部門には7件の応募があった。受賞対象の製品は、いずれも独創的な商品開発と「更なる飛躍を期待する」と講評した。

丸井康彦

丹波新聞 1月27日

今年度の「丹波すぐれもの大賞」受賞4品

西山酒造場



「甘酒ヨーグルト」「甘 麴」

健康にもいい美味2品

清酒製造技術を生かした「甘麴」と「甘酒ヨーグルト」

「甘酒ヨーグルト」は、兵庫丹波産のヨグルと「山芋」や「アミン」を配合したヨーグルト。甘酒の味とヨーグルトの酸味が調和し、消化が良く、健康にも良いと評判です。

まさゆめさかゆめ



「樹乃根 太鼓」

丹波栗など「ふんだん」

丹波産材料にこだわったバームクーヘン「樹乃根 太鼓」

「樹乃根 太鼓」は、丹波産の栗や山芋、小麦粉などを配合したバームクーヘン。丹波産材料にこだわっており、味わい豊かで、健康にも良いと評判です。

フジフレッシュフーズ・河南勇商店



「丹波山芋焼き」

山の芋の味わい手軽に

丹波特産の山の芋の味わいを手軽に楽しむ「丹波山芋焼き」

「丹波山芋焼き」は、丹波特産の山の芋を手軽に楽しむための商品。山芋の旨味と砂糖の甘味が調和し、健康にも良いと評判です。

丹波の素材 生かし開発

丹波の豊かな自然環境を活かした、丹波産素材を生かした開発品。山芋、栗、小麦粉などの丹波産材料にこだわっており、味わい豊かで、健康にも良いと評判です。


丹波すぐれもの大賞 過去の受賞者

平成23年度

◎ きらめき(産業・ビジネス)部門 ◎

受賞者名	所在	製品	
明昌機工株式会社	丹波市	NANO IMPRINTER (ナノインプリンター)	
株式会社大地農園	丹波市	プリザーブ加工技術による 新商品カサブランカ等	
フルヤ工業株式会社	篠山市	熱可塑性樹脂×シリコーンゴム (熱硬化性)の同時一体成型品	
平和発條株式会社	篠山市	伸縮両効き皿ばねユニット	

◎ わくわく(日常生活)部門 ◎

受賞者名	所在	製品	
株式会社やながわ	丹波市	和のモンブラン	

丹波すぐれもの大賞 応募要項

…丹波地域で生まれた独創的な産業製品・部品、生活商品、農産物など…

創意工夫を重ねた革新的な技術・手法で、産業界や地域の活性化に貢献している製品・商品等を生産している企業、団体、グループ又は個人に対し、「丹波すぐれもの大賞」（平成23年度創設）を贈呈します。併せて、地域の誇りとして、受賞企業・製品等を地域内外へ発信することにより、地域産業への関心を高め、産業の活性化を図ります。

◆表彰部門

以下の2部門において審査を行い、特に優れた評価を受けた企業・団体・グループ又は個人を表彰します。

- ①きらめき(産業・ビジネス)部門 ～産業及びビジネスで活用される製品・部品～
革新的で高い技術を要する製品や部品を製造し、産業の活性化等に貢献している企業、団体、グループ又は個人。
- ②わくわく(日常生活)部門 ～日常生活で使用される商品や農産物等～
画期的な発想と高い技術力により、他にない優れた品質の商品（農産物やその加工品を含む）をつくり、生活の豊かさ等に貢献している企業、団体、グループ又は個人。

◆応募に必要な資格

丹波地域内で事業活動する企業・団体・グループ又は個人
※なお、表彰の対象となる製品や生産物等は、原則として、2年以内に生産されたもの
とします。

◆応募方法

自薦・他薦は問いません。所定の応募書類1部を提出してください。

平成25年度(予定)

◆募集期間

平成25年10月1日から10月31日まで

◆受賞者の発表と表彰

受賞者の発表及び表彰式は平成26年1月を予定しています。



〈問い合わせ先〉

兵庫県丹波県民局 大丹波連携参事 産業・ツーリズム課

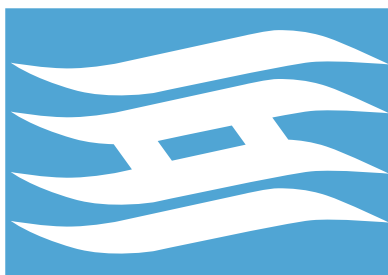
〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原688 [兵庫県柏原総合庁舎本館2階]

TEL. 0795-73-3782 FAX. 0795-72-3077

ホームページ <http://web.pref.hyogo.jp/area/tanba/index.html>

丹波すぐれもの大賞

検索



丹波すぐれもの大賞

兵庫県丹波県民局

大丹波連携参事 産業・ツーリズム課

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原688
TEL: 0795-73-3782

24丹波© 2-012A4